

船舶事故等調査報告書

平成21年10月1日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009広第174号	
事故等種類	座洲	
発生日時	平成21年4月26日 22時30分ごろ	
発生場所	岡山県小串港沖 (概位 北緯34°35.8′ 東経134°02.5′)	
事故等調査の経過	平成21年6月17日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（広島事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	油送船 ^{こゆうん} 幸運丸、177トン	
船舶番号、船舶所有者等	136126、四宮海運株式会社	
乗組員等に関する情報	船長、六級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	なし	
事故等の経過	本船は、C重油300klを積載し、船首約2.2m、船尾約3.2mの喫水で、小串港沖を北進中、平成21年4月26日22時30分ごろ、船底が浅瀬に接触した。	
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北西、風力 3 海象：潮汐 上げ潮の中央期	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし あり 本船は、船位の確認を行わなかったため、風力3の北西風により右方に圧流されていることに気付かず、普段、無事に航行している進路より東側を航行した可能性があると考えられる。 発生場所付近は、海図水深1.6mである。
原因	本インシデントは、夜間、本船が小串港沖を北進中、船位の確認を行わなかったため、浅瀬に乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。	